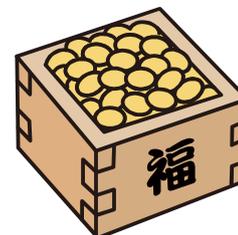


神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第159号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2016年2月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、2
- 「新事業・新技術支援フォーラム」 松井 利夫 2
- 東京都異業種交流プラザ21創立30周年記念シンポジウム要旨 3
- テクニカルショウヨコハマ2016 イグレン 宗和 正憲 4
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 5、6、7、8
- 税理士法人 With you 【 連載22 】 代表社員 出田 敏子 氏 8、9
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 10

【 神奈川イグレンご案内 】

- イグレン理論機関紙第2号の発刊を行いました。<3号発刊は6月発行予定>
- プラスチック成型業界プロジェクト・・・明るいプラスチックの会
昨年11月に発足。16社が参加
- 戸塚市役所跡地活用の施策を提案

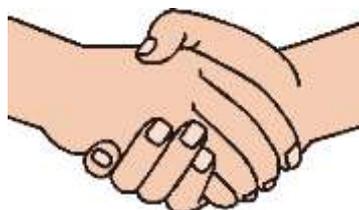
<イグレン新グループ設立に関する次回会合のご案内>

イグレンが新しいグループづくりを行うという事で昨年10月より説明会&意見交換会を行っています。企業経営者を始め行政に携わる方や県OB、会員の方などにご参加頂いており現在意見を集約中です。

イグレンニュースをお読み頂いている会員の方にとっては他業種との交流を深めるチャンスであり、ビジネス拡大につながる可能性もあります。また、第一線から離れておいでの方にとってもご自身の経験を多くの方に役立ててもらえるという貢献の場でもあります。今後、何度か討議を重ねた後、新グループを設立します。次回は2月18日（木）に第4回目の会合を行いますので皆様ふるってご参加下さいませ。是非、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

【日 時】 : 2016年2月18日（木） 18:00～20:30 まで（懇親会付）

相手のビジネスを応援するその
先にビジネスチャンスあり！！
自分達で新グループを立ち上げよう



< 新規イグレン会員募集 >

かながわイグレンも30周年を迎えホームページも一新し、新たな局面に入ってきています。出来るだけ多くの皆様にもご参加いただけるよう会費の変更も行っています。現在、個人会員は3,000円、サポート会員の皆様は1,000円と、ご加入頂きやすい会費となっています。ビジネス拡大の場として、また皆様の交流の場としてご活用頂ければと思います。

皆様の周りの方で人との交流、ビジネスなどに興味がおありの方がおいででしたらイグレンスタッフまでお声がけください。

今後新規会員の皆様の動向などお伝え出来ればと考えています。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

松井利夫

第38回フォーラムは平成28年1月21日に開催。初めに、鶴野さんから「ストーブ発電機」の開発について説明があった。開発したものは、大手自動車部品メーカーでスターリングエンジンの実用化に取り組み続けた「百瀬機械設計」の百瀬社長が開発したスターリングエンジンと「活エネルギーアカデミー」の山崎理事長が開発した「ロケットストーブ」を組み合わせた「ストーブ発電Momo」と名付けられた「ストーブ発電機」です。現在の売価は100万円前後ですが、60万円程度で販売したい。そのためのコストダウンの方法や販売戦略などについてご教授頂きたいとのこと。ちなみに売価100万円の内訳は80万円がスターリングエンジン代で全体の8割を占めているわけで、エンジンの製作費を落とすことが重要である。幸いこのエンジンの部品点数は12点しかなく、コストダウンに取り組みやすいものであるとのことであった。「ストーブ発電機」のセールスポイントは、発電+調理+暖房が出来ることにあり、発電は140Wで、照明、液晶テレビ、ケイタイの電源等として使うことが出来るとのこと。伊藤さんからは、ストーブは冬しか使わない。従って、発電を主体に考えたほうが良いと思う。災害用なら100万円は高いことはない。灯油がなくても手元にある材料で使えるのが良いとの意見があった。他の方から、「ストーブ発電機」をケイタイの基地局とし利用したらどうかという意見もあった。また、コストダウンについても2,3意見が述べられた。

次に、栗田さんから、本題に入る前に、自分が手掛けている独立電源モデルの車について説明があった。現在、車の上に300Wの太陽パネルを載せて発電している。12Vバッテリーを2個直列につないで蓄電し、照明、パソコンの電源その他に使っている。自作なので設備一式を設置しても10万円台で出来た。最近では機器が省電力になっているのでこれだけで十分利用できるとのこと。

本題では、監視カメラ装置について説明があった。このカメラは、夜間でも人物の識別が出来るほどの優れた性能があり霧にも強い、太陽パネルや資材等の盗難防止としてポールにカメラを取り付けた独立型装置の開発を行っているとのこと。他には、ウェアラブルデバイス(ウェアラブル・コックピット)の開発も行っている。これは、現場の作業支援のツールとして作っている。次は、ハブカフェ(FabCafe)の様な交流の場を作りたいと考えている。ハブカフェとは、カフェでありながら、客が要望する試作品を店が3Dプリンターで製作してくれる所である。その他、開発資金を集める方法の一つとしてクラウドファンディングという方法があるとの説明もあった。

早川さんからは、長年取り組んでいる身近な「住環境と健康」についての説明があった。本当の健康住宅を作りたいと思っているので協力してくれる企業を紹介して欲しいとのことであった。

東京都異業種交流プラザ21 創立30周年記念シンポジウム要旨

(7月15日 日本ビルヂング6階)

異業種交流・連携活動の社会的役割と意義の再確認
—東京都異業種交流プラザ21 創立30周年記念シンポジウム感想記—

イグレン事務局次長 愛賢司

昨年7月15日に、東京日本橋ビルで開催された東京都異業種交流プラザ21 創立30周年記念シンポジウム「異業種交流・産学官連携と企業経営」に参加し、異業種交流・連携の活動に関わる一員として、非常に興味深いシンポジウムでしたので報告します。

パネリストは、異業種交流・連携のプロフェッショナルとして全国的に自他共に認める以下の面々です。

パネリスト 坂本 光司 法政大学大学院教授

パネリスト 芝 忠 神奈川県異業種連携協議会専務理事

パネリスト 原田 学 (株) マルコム代表取締役：プラザ21 副代表幹事

コーディネータ 竹内 利明 電気通信大学特任教授：プラザ21 事務局長

パネリストの皆さんから、実践に裏打ちされた論点が提示されました

1. 異業種交流とは

(芝) 神奈川の異業種交流の発端は、県工業試験所(当時)が、個別企業に対して業務として行っていた技術指導・技術相談が、時代とともに幾つかの技術分野にまたがるようになり、技術交流という形に変わってきた。自分の業務を通して、技術交流だけでは不十分であることが明らかになり、技術交流・技術移転+経営交流・ソフト交流という方向で発展してきた。

(坂本) 静岡県中小企業問題研究会はじめ多くの異業種交流会を組織してきた。社長の会に止まらず、営業担当者、生産管理担当者、女性管理職等の会も組織してきた。目的は、行政に依存しない中小企業、単品加工=下請け加工からの脱却=自立型中小企業への飛躍。

良い企業の特長—社長の人間関係が広く深い。

(原田) 中小企業の鍛えの場—中小企業にとって訓練・学習の場

2. 異業種交流の成果とは—製品開発の成果が余り生まれにくいことをもって『異業種交流の役割消滅論的見解があるが』

(芝) 異業種交流の特長として①参加者の視野が広がる②他社の考え方からの刺激③情報源・発信先の多様化④共同・協同の苗床⑤人材確保・育成への貢献⑥集団化の展望⑦地域経済活性化、が上げられる。異業種交流にとって①~⑦全部を備えている必要はなく、それぞれの活動の個性と考えれば良い。

(坂本) 異業種交流は『手段』であり『目的』ではない。目的はあくまで『良い企業を創る』こと。

別言すれば「外部有用系資源の内部資源化戦略」。

商店街衰退問題は、「商店街」の問題ではなく「個店問題」。良い商店街とは、魅力のある個店が並んでいる商店街。「魅力のある個店」をどう創るかを追求する手段の一つが異業種交流。

3. 産学連携について

(芝) 地域の中小企業との交流・連携に大学側の消極姿勢がネックになっている。

(坂本) 産学連携の成果を期待するなら大学より専門(性のある)学校と連携する方が、目標がはっきりする。大学は個人の集団で構成されているので、良い人を掴むかが決定的に大きい。

中小企業の限界が有る限り、大学連携も含め、『異業種交流・異業種連携』の意義・有用性は不変といえる。

(原田) 自社の製品開発では、大学との連携が大きい。特に先端技術に関する情報入手では、図書館のビジネス支援コーナーからの情報が大いに役立った。(図書館の司書は資料を調べるのは得意であり、必要な情報を的確に提供してくれる)

4. 『人を大切にする経営学会』について

(坂本) 多くの企業を調査・分析し関わってきた経験則として到達した結論は、『良い企業・成長する企業』とは『人を大切にする経営を実践している企業』である。

【 テクニカルショウヨコハマ 2016 】

第37回工業技術見本市開催（2016年2月3日～5日）

イグレン広報：宗和

例年、パシフィコ横浜で開催されているテクニカルショウヨコハマ 2016 を今年も見てきました。37 回目の今回は「未来をひらく新技術」をテーマに「ビジネスソリューション」、「生産（加工技術）」「生産（機器・装置・製品）」、「環境・エネルギー／健康・医療・福祉」、「産学公・企業間ネットワーク」の5分野からなる590社を超える企業・団体が参加。来場者数も2万7千人を超えたようです。会場を回っていると毎年、技術の進歩を感じます。顧客ニーズに基づくのは当然の事ですが特におもてなしや経営サポートの分野が印象的でした。

開催日当日の2月3日、神奈川イグレンのグループ会員である、まんてんプロジェクトが「まんてんプロジェクトの活動と保有技術について」会場内でセミナーを開催しました。（瀧澤 清 会長より報告）

まんてんプロジェクトは、航空宇宙関連部品を開発・製造するための「航空宇宙関連部品調達支援」コンソーシアムです。2002年10月、旧NASDA（現：JAXA）の報告書で部品国産化比率が30%に落ち込み中小企業に協力を求めてきたのをきっかけとして「神奈川県異業種グループ連絡会議」（現：神奈川県異業種連携協議会）が神奈川・東京を主体として全国の中小企業に参加を呼びかけ、2003年に設立。現在、約90社以上が参加しています。

この会では各地で講演会や勉強会、展示会、見学会、各種情報発信や行政への提案などを行っています。瀧澤会長の話も非常に分かりやすく、航空機や衛星の厳しい国際基準に合わせた企業努力があって、ようやく物が出来上がってくる様子がよく分かりました。

まんてんプロジェクトに関する詳細はホームページをご覧ください。

www.manten-project.org/



説明をする 瀧澤 会長



＜来年度のテクニカルショウ横浜 2017 は平成 29 年 2 月 1 日（水）～3 日（金）パシフィコ横浜で開催＞

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【 川崎異業種研究会 】

川崎市商工会議所 市川 順

< 10月定例会 >

10月16日(金)～17日(土)〔1泊2日〕、沖縄県(那覇市等)への国内視察会を、会員13名の参加を得て開催した。

16日には羽田空港から那覇空港に移動。その後、貸切バスで県内を移動した。

まず、沖縄本島中央部にあり広大な広さ(643ヘクタール)を誇る、「米軍基地キャンプフォスター」を視察した。同基地は、軍人約2600人、米国民間人従業員1200人、日本人従業員3500人余で構成されている。基地内には、司令部事務所、兵舎や住宅、トレーニングジム、小中高校、消防署、郵便局、銀行、教会、スーパー、映画館やボウリング場といった娯楽施設など、日常生活に必要なものがほとんど揃っており、1つの街として形成されていた。こちらの食堂で昼食をとり、施設内を見学した。

次に、沖縄の激戦地として知られる、「嘉数高台公園」に場所を移した。こちらの展望台からは普天間基地が一望できオスプレイが20機ほど確認できた。

ホテルロコアナハにチェックイン後、「和牛たんや」で交流会を行い、親睦を深めた。

翌17日は前日同様、貸切バスを移動手段に、首里城、沖縄戦の時に司令部として使用された防空壕の「旧海軍司令部壕」、「ひめゆりの塔」と年間60万人が訪れるという「ひめゆり平和祈念資料館」、総延長5千メートルの鍾乳洞で有名な「おきなわワールド」を見学した。自由時間の後、那覇空港から羽田空港に、そして散会。



< 10月分科会 >

10月1日(木) 午後6:30～中原市民館第1会議室にて、会員11名、学生8名の参加を得て開催した。当会員である、G Leapコンサルティング株式会社 DLSダイヤモンドランゲージスクール 校長中野敬子氏を招き、「DLS English Coreメソッド」をテーマに講演は進められた。英会話をどのように楽しく簡単に学ぶかなどが説明された。

極意の一つは、「インプット」ではなく「アクティベート」であり、国際化が加速するなか、非常に有意義な内容であった。その後、場所を移して懇親会を行い、外国人講師の話題で大いに盛り上がり、散会となった。

< 11月分科会 >

11月5日(木) 午後6:30より、中原市民館第3・4会議室にて、会員10名、学生6名の参加を得て開催した。米空軍科学技術局 技術報道専門官 皆川健太郎氏を招き、「在日米軍、米空軍科学技術概要及び日本アジア地域での活動内容」をテーマに講演は進められ米軍に勤務する日本人(外国人)の雇用形態や業務内容も説明された。あまり見えてこない米軍内部を知る機会となった。

その後、場所を移して懇親会を行い、米軍キャンプ等の話題で大いに盛り上がり、散会となった。

【NPO法人 C&S経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

イグレン・NPO C&S 共催「補助金セミナー」のご案内
〈「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」獲得の秘訣と申請書作成支援〉

2月5日に、平成27年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の公募受付が開始されました。この補助金の概要については、1月号でお知らせしていますのでご存じと思いますが、この補助金は、中小企業及び小規模事業者の設備投資やサービス開発・試作品に補助率2/3の補助金が交付されるもので、非常に利用価値が高くて使いやすい補助金です。ちなみに、昨年度の公募においては応募件数17,128件に対して採択件数7,253件で採択率42.3%という極めて高い採択率でした。

今回のセミナーでは、「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」一本に絞って補助金獲得の秘訣を説明するとともに採択に結びつく申請書の書き方を事例を交えながら易しくご説明します。この機会を逃さず応募されては如何でしょうか。

- 【日 時】 平成28年3月8日(水) 14:30~17:00
- 【会 場】 かながわ県民センター 15階 1503会議室
- 【講 師】 中小企業診断士 松井利夫氏
- 【受講料】 1,000円(資料代)
- 【申込先】 FAX(045-228-7331)又はE-MAIL(toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp)

詳細は添付「セミナーのご案内」をご覧ください。

【第169回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2016年2月26(金) 午後3時30分~5時15分 協議会 その後交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター(神奈川県異業種連携協議会) TEL:045-228-7331
3. 次第<企業紹介> 一般社団法人 ESAアントレプレナー会計 代表理事 岩井久典氏
<企業紹介> アチーブメントプロデューズ(株) 取締役 ジョシュア 佐佐木氏
○日韓関係のトピックス： KOREAN TODAY 記者：末廣 信氏
○メイン講師：特定非営利活動法人「Connection of the Children」 代表理事 加藤功甫氏
タイトル：「ユーラシア大陸を自転車での横断の旅」について
要 旨：ポルトガル~日本。31カ国2万キロを自転車で旅した中で得たテレビやインターネットでは決して得られない出会い、経験の数々。旅では世界の子供のつながりを視覚化するプロジェクトを実施。その成果も共有します。

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/) 有村 知里

<2016年3月定例会>

- 日時 2016年3月8日(火) 定例会 18:30~20:20 懇親会 20:30~22:00
 - 会場: かながわ県民センター 3階 303会議室 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
(横浜駅西口(北口)から徒歩5分)
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5681/p16362.html>
 - 内容: 1. 講演 18:35~19:35 「海街diary」から考える相続と年金
一すずちゃんにはいかなるものが受け取れるかー
昨年、是枝裕和監督(代表作:そして父になる)で映画になった、「海街diary」の家族関係を元に、相続や年金を考えてみます。
講師: 社会保険労務士・行政書士 蔭山行伸事務所 蔭山行伸様(会員)
<http://www.kageyama-sr.com/> 社会保険労務士・行政書士(ともに平成13年開業)
 - 2. 会員プレゼンテーション 19:45~20:00
株式会社ティーエムイー 小海 司様 <http://www.tme.co.jp/>
 - 3. プレゼンテーションタイム 20:00~20:15
お一人5分以内で、企業や事業・イベント紹介などさまざまなプレゼンテーションにお使いください。会員はもちろんのこと、ゲスト参加の方もご利用いただけます。
 - 4. ゲスト自己紹介 20:15~20:20 お一人1分程度で自己紹介いただきます
 - 5. 懇親会 20:30~22:00 予定 近くの居酒屋にて(実費3,000円程度)
- 参加費
定例会: 初回は無料 2・3回目は1,000円、4回目以降は4,000円
懇親会: 初回参加の方 1,000円、2回目以降の方実費(3,000円程度)

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。
多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどを行い、各自の研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。
お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

理論機関誌「イグレン」第2号発行しました

イグレン理事: 加藤 文男

機関誌イグレン第2号を1月4日付で発行しました。第2号は、イグレン第32回定期総会における金子理事の講演及び愛事務局次長の中小企業振興条例に関する論文を掲載しました。金子理事の講演は、2冊の著書の紹介と共に、「反原発・脱原発」でも「原発依存・原発再稼働」でもない第三の道である「トリウム溶融塩炉」を説明・提言されています。愛事務局長は、イグレンが提案した条例案及び川崎市の条例案を比較検討できるように資料を添付した力作です。近々、イグレンのホームページに掲載します。

次号第3号の論文を募集しています。内容は論文といっても、堅苦しい内容でなくて結構です。下記のようにかなり幅広い範囲を想定しています。ぜひ、日頃の活動内容をご紹介ください。

- ① イグレン活動の報告と紹介
- ② そこから学ぶこと(経験の整理)
- ③ 異業種交流・連携の理論化
- ④ 中小企業を取り巻く情勢の紹介と自己の意見
- ⑤ 自身の体験の紹介、など

表紙に使用するイグレンの活動に関連する写真を募集します。写真の応募については、関連する活動内容など論文も同時にお送りください。

第3号発行は、2016年6月1日の予定です。原稿の締め切りは、2016年4月25日とします。募集論文に関するご質問は、芝専務理事、又は、編集担当加藤へご連絡ください。尚、創刊号の内容は、イグレンホームページに掲載しております。

イグレンホームページに新しい投稿が公開されました。

【タイトル】 43 初心者も知っておきたい金型の知識 1 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-910/>

【タイトル】 44 初心者も知っておきたい金型の知識 2 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-911/>

【タイトル】 45 初心者も知っておきたい金型の知識 3 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-912/>

【タイトル】 46 初心者も知っておきたい金型の知識 4 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-913/>

【タイトル】 47 初心者も知っておきたい金型の知識 5 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-917/>

【タイトル】 理論誌 第2号 【カテゴリー】 理論誌
【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/report/report-916/>

税理士法人 With you

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡2-4 YSビル3F
電話：045-312-6724 FAX：045-412-6734
<http://www.tkcnf.com/ideta/pc/>

税理士・産業カウンセラー・FP・
キャリアデベロップカウンセラー

代表社員 出田 敏子



【 連載 22 】 「黒字決算に向けた決算対策」

これまでの暖冬がうそのように一転して、吹雪、寒波の大襲来。株価も乱高下し、決算を控えた企業も多いことと思います。こういうときこそ腰をすえて来期以降の業績につながる有効な税対策を検討していきましょう。

【I. 現状の数値の把握と決算数値の予測】

まずは期首から現在までの自社業績について、売上高・経費・利益などの数値を把握しておく必要があります。これら数値を踏まえたうえで、未経過月の業績を検討し、最終的な売上高・経費・利益などの決算数値を予測し、赤字か黒字か、予算は達成できそうかどうか、利益は確保できるかどうかを確実に把握します。

【II. 決算対策（利益確保・節税）の検討】

予測数値を元に決算対策を検討するのですが、普通「決算対策」と言うと、黒字企業の節税対策を考えられがちです。しかし、近年は赤字企業に対する融資査定も厳しくなっており、赤字のときほど決算対策として次年度黒字化に向けた利益確保対策を行なう必要があります。

決算対策とは、これらを含めた当期目標利益達成のために決算前に講じるさまざまな対策全般をさします。つまり、決算対策は税法等の法律の範囲で合法的に利益の確保・利益の圧縮を行なうことでもあります。決算期末まで「まだやれることをやる」姿勢が大事ですので具体的に見ていきましょう。

（1）利益確保対策

① 業績向上への取り組み

- ・営業活動を見直して、取引先へのアプローチをはかる。
- ・見積もり段階にある案件の成約・本採用に向けた営業を行なう
- ・販売促進を強化する（決算バーゲン・在庫一掃セールなど）

② 経費の先送り・・・広告宣伝費、備品、消耗品など緊急性の低い費用は翌期に先送りして、当期費用にならないよう調整する

③ 含み益のある資産の処分・・・含み益がある株式、土地その他の資産があれば売却処分を検討する

（2）節税対策

① 決算賞与の支給

- ・・・予想以上に業績が良い場合には、決算賞与で利益を調整する方法もあります。
従業員への決算賞与は損金計上できる上に、モチベーション向上にもつながります。

② 30万円未満の備品の購入

パソコン、備品など一つ30万円未満であれば年間で合計300万円まで取得価額を全額損金に算入できます。

③ 修繕費の前倒し実施

次期に予定されている修繕費等を当期に前倒しが可能であれば検討しましょう。ただし、当期中に工程が完了する必要があります。

④ 不良在庫処分

不良在庫があれば一掃セールなどを行い、原価割れで販売することで原価との差額分を売却損として計上しましょう。また陳腐化して売れない商品を廃棄すれば廃棄損を計上できます。

【III. 効果的な決算対策は「月次決算」から始まる】

以上の決算対策を、年に一回の決算期だけの行事と心得ていては出来る方策や時間も限られてしまいます。直近1ヶ月の業績を常にタイムリーに把握し、迅速な経営判断を心がけるべきであり、そのためには月次決算体制のなかで決算対策を検討するのが最も望ましいと言えます。毎月の帳簿をきちんと締めて、最新の売上高・経費・利益をつかむ月次決算の積み重ねがあって、よりの確な決算対策が可能となります。継続こそ力なりです。信頼できる会計事務所と連携して月次の決算対策を続けていってください。

	神奈川県新産学公交流 第70回 サロン横浜	西湘サロン 第61回	海老名サロン 第33回	三浦半島経済人サロン 第69回
日程	03月16日(水) 18:00~20:30	03月14日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	03月18日(金) 15:00~	02月24日(水) 18:00~ 開場は17:30~
場所	神奈川県中小企業センタービル7F 横浜市中区尾上町5-80	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術センター2F 講義室6 海老名市下今泉705-1	神奈川県新聞社 横須賀支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	(織方、篠原、坂本、杉本)	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	未定 参加費:1,000円	「農業を知り、共に新たなビジネスを創造しよう」 株式会社流通研究所 代表取締役 釧持雅幸氏 参加費:1,000円	これからの事業の在り方を考える ディスカッション 会費:2,000円	横須賀の絵はがき (有)品川文化堂代表取締役 品川哲朗様 参加費:1,000円

尾上町サロン・・・毎月1回、第一金曜日に開催。次回03月04日17:15~19:30 参加費1000円
ざっくばらんに語り合う場 会場: 中小企業センター703 イグレン事務局

関東にも春一番が吹きました。春一番にしては「あらし」のような状態でしたね・・・。昨日まで寒かったのがうそのようです。日本経済も年初から連日株価も下げ、最近では円高傾向にあります。こういうことを見ていますと、いかに日本経済が海外の影響を受けやすくなってきたかがよく分かります。何とか春一番のように一気に上昇してもらいたいものです。春ももうそこまで来ています。視点を変えれば何かが見えてくる・・・。

イグレンも新グループ設立に向けて動いています。何か変化を起こしたいとお考えの皆様、是非新グループ立ち上げに参画してみられてはどうでしょうか？



「神奈川県イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・。など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川県イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センタービル7階インキュベーションルーム703号
神奈川県イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com